

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

(97GA(TCF780/781/822/842・
GB(TCF770/771/841)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル一覧*をご確認ください。

*アフターサポート期間が終了したため、ラベルの発注はできません。

2. 連立トイレの配置例

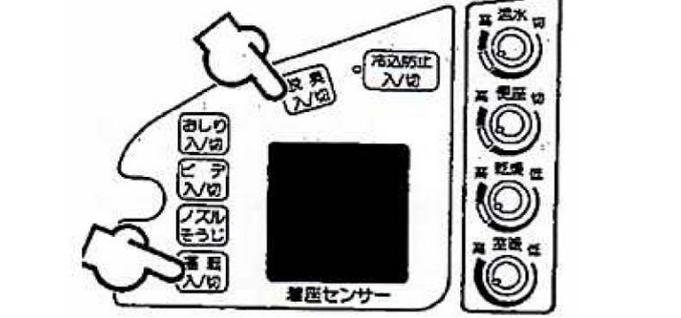
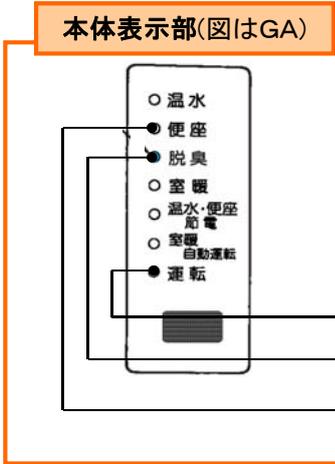
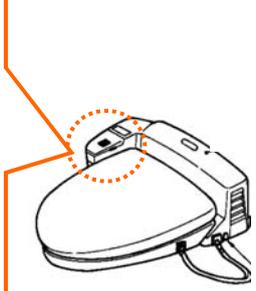
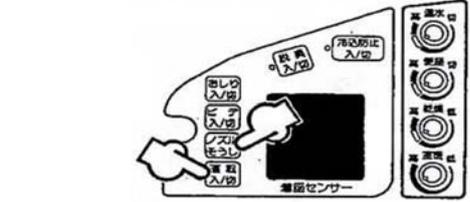
正 規 品	(タ イ プ 1)	(タ イ プ 2)	正 規 品	(タ イ プ 1)	(タ イ プ 2)
(タ イ プ 3)	(タ イ プ 4)	(タ イ プ 5)	(タ イ プ 3)	(タ イ プ 4)	(タ イ プ 5)

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

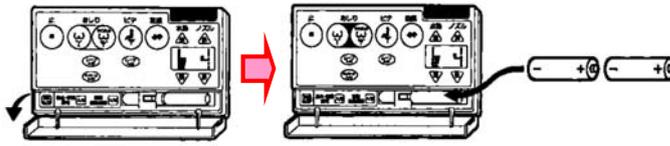
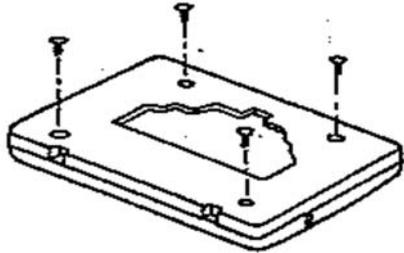
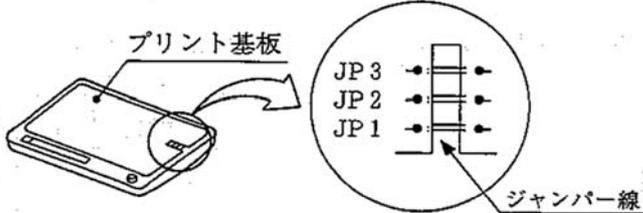
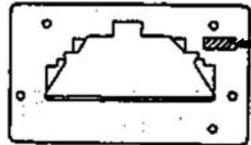
※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

<p>手順</p> <p>1</p>	<p>本体操作部(図はGA)</p> 	<p>補助操作カバーを開けて、本体操作部の「運転入/切」SWを10秒以上押し続ける ⇒10秒後に全てのランプが2秒間点灯します。</p>																												
<p>2</p>		<p>全ランプ点灯中(2秒間)に、「脱臭入/切」SWを押ししたまま「脱臭入/切」SWを5秒以上押し続ける ⇒5秒後に『手順3』のようになります。</p> <p>ご注意!! ※全ランプ点灯中(2秒間)に「脱臭入/切」SWを必ず押ししてください。 (2秒以上経過して「脱臭入/切」SWを押すと、違う設定に切り替わり、連立対応の設定がうまくできなくなります。)</p>																												
<p>3</p>	<p>[※失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。]</p> <p>本体表示部(図はGA)</p>  <table border="1" data-bbox="520 1279 1098 1469"> <thead> <tr> <th>LED</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>脱 臭</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>便 座</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎…点灯 ×…消灯</p> 	LED	標準	特1	特2	特3	特4	特5	運 転	◎	×	◎	×	◎	×	脱 臭	◎	◎	×	×	◎	◎	便 座	◎	◎	◎	◎	×	×	<p>本体表示部の全ランプ消灯後に、現在のリモコンコードが下表のように表示される。 (確認後「脱臭入/切」SWからは手を離してかまいません。「運転入/切」SWは押ししたままです。)</p>
LED	標準	特1	特2	特3	特4	特5																								
運 転	◎	×	◎	×	◎	×																								
脱 臭	◎	◎	×	×	◎	◎																								
便 座	◎	◎	◎	◎	×	×																								
<p>4</p>		<p>「運転入/切」SWを押ししたまま、「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す。 ◎「ノズルそうじ入/切」SWを押す度に標準→特1→特2...特5→標準と切り替わります。</p>																												
<p>5</p>	<p>※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。</p>	<p>「運転入/切」SWから手を離れた時点で設定したコードになる。</p>																												
<p>6</p>	<p>リモコンコード特1</p> <p>この商品は特1タイプのリモコンでご使用ください。</p>	<p>ウォシュレット本体の背面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>																												

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																													
1	 <p>◎電池カバーを開けて、乾電池を取りはずしてください。</p>	<p>①乾電池をはずす。</p> <p>②「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p>																												
2		<p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> <p>※裏面を取りはずすときは、電池カバーを開けた状態にしてください。</p>																												
3	 <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="316 1160 895 1339"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p>リモコン基板上的4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																								
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×																								
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎																								
JP1	◎	×	◎	×	◎	×																								
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																													
5	 <p>例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																												

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)